

第 60 号

平成 28 年 3 月 24 日

編集発行

足立区青少年委員会

広 報 部

足立区教育委員会

青 少 年 課

<http://adachi-seishounen.jp>

## 足立区青少年委員会だより



区の花：チューリップ

# あだち

年中行事・記念日を大切にしている取り組み  
…区役所アトリウムに飾りつけをします



伝統文化の伝承と子どもたちの健全育成のために

青少年委員会は、まず委員である「個」を成長させる団体でありたいと思いました。そして、「個」の成長はやがて委員会全体の成長を促して行くことにつながります。

「個」と「組織」の連携不備や現代を取り巻く様々な課題など、全ての根本にあるキーワードは「変化」です。

今、青少年委員会も転換期にあり、今までとは違う発想、新しい考え方へ挑戦する力が求められています。足立区青少年委員会は、変わらない強い気持ちを持ちながら、絶えず成長する団体でありたいと思います。



足立区青少年委員会会長

北島 一弘

変化できる者

子どもたちからのメッセージ  
「鹿浜すこやか  
ネットワーク」

第十二ブロック 笠原 昌俊

九月二十六日、北鹿浜小学校に於いて第二十一回鹿浜すこやかネットワークが開催されました。

当日は定野教育長をはじめご来賓の方々、保護者の皆様をお迎えして、「ビューティフルスクール」私たちが考える理想の学校」を共通テーマとして八人の小中学生が意見を表してくれました。

多くの発表者が、友達との関わりをいかにしてよりよいものにしていくか深く考え、次のような提案がありました。

- 大きな声で挨拶を交わす
- 自主的に授業や行事に取り組みメリハリのある生活をおくる
- 友人を一面だけで判断しない
- 意見の対立を恐れずお互いにわかりあえるよう話し合う努力をする
- 動物の飼育を通して命の大切さを学ぶ

以上のように積極的に取り組めば、居心地のよい理想に近づいた学校があることを私たちに訴えかけてくれました。

現在の友人関係で、心を痛めなが

らも、良い方向に行動していることを、勇気を持って伝えてくれました。また、「これから統合される母校を愛する気持ち」と「その先への期待」、そして「理想の学校の姿を思い浮かべたら、それは現在在籍している学校にあった」という、ほっとする発言もありました。

終了後、保護者の方々から、「大人でも人間関係を構築していくことは難しく、挨拶や思いやりなど身近なところでも実践していきたい」など、多くの感想が寄せられました。今後も多くの皆様に子どもたちのメッセージを受け取って頂きたいと思えます。



ブロック活性化事業

千住音楽祭

第二ブロック 大木通子

去る十一月二十二日、帝京科学大学二号館アリーナにて、今回で四回目となる『千住音楽祭』を開催いたしました。

千住の子ども達の音楽に取り組む姿、その成果を多くの地域の皆様にお聴きいただき、我々と共に応援していただきたいとの思いで取り組んできた『千住音楽祭』です。

今回は、三回目のゲスト出演となる藝大の口笛達人青柳呂武(ろむ)氏による口笛と弦楽四重奏の披露、私立の足立学園、潤徳女子高、更に、会場をご提供いただいた帝京科学大学の吹奏楽サークルも参加となり、小



学生から大学生までの児童・生徒・学生の響演となりました。毎回行う会場アンケートでは、「席が少ない」、「フラットで見えない」との意見もありましたが、「とてもよかった」、「来年も楽しみにしている」とのご意見を多数いただきました。どれも貴重なご意見として次回に生かしていければと思っております。





「魚沼とふれあい」  
宿泊研修報告

青少年委員会副会長 下川 佐智子

九月二十六日(土)、足立区青少年委員会の一行は研修で魚沼へ出発しました。

車内で事前学習しながら、順調にバスは進みました。

新潟県魚沼市に入り、女人救済の庵寺として篤く信仰されてきた雲洞庵を訪ねました。赤門の参道には、法華経が一字一石にされる埋められており、昔から「雲洞庵の土踏んだか」といわれ一歩一歩踏みしめてお参りしたとのことでした。

越後ワイナリーの地産地消をモットーにしているレストランでは新鮮な食材を使ったおいしいランチをいただきました。ワイナリー自家製の葡萄ジュースはたいへん濃厚な味でした。食後、地下のワイン貯蔵庫を見学しました。階段を降りていくとヒンヤリと冷気に包まれてきました。雪はCO<sub>2</sub>を出さないクリーンエネルギー、ということと雪水室に二百五十tもの雪を貯蔵し、その冷気によりワインの熟成に最適な温度に保ちエコロジーなワイン作りをめざし



ているとのことでした。

足立の中学生が米作りをしている田んぼを振興公社の五十嵐氏に説明を受けながら見学しました。校名の書かれた立て札が立ててある田んぼには稲刈りをした稲が高く積み上げられ干してありました。

宿舎に到着し学校支援地域本部運営委員会地域コーディネーターの方々のお話を伺いました。子どもたちのために学校を応援しようとして学校支援ボランティアが、学習や部活動のお手伝い・花壇の手入れ・図書館整備・登下校の見守りなど多岐にわたる活動をしているそうです。また、行事を企画し子どもたちと共に大人も楽しみなが



ら開催してきたことなど、時間を忘れるほどでした。コーディネーターの高野氏の「この土地には『ゆい』(注)が生きていると感じた」ということが深く印象に残っています。

翌日は、やまこし復興交流館「おらたる」を拠点に山古志一帯の案内をしていただきました。女性職員は中越大震災の時小学生で、被災した自らの体験も語ってくれました。六年前にも研修に訪れた地ですがまだ災害の跡は消えてはいませんでした。

昼食には「茶々の会」の皆さん手作りの郷土料理の説明をしていただきました。地元の食材で作ったお惣菜はどれもみなとてもおいしくたつぷりいただきました。

笹団子を作り自作の作品をおみやげにしました。

中越大震災からの復興に向けて人々の力強い取り組みを目の当たりにし、米どころ魚沼の厳しくも豊かな自然に触れての二日間の充

実した研修でした。

(注)『ゆい』とは・・・田植えなどの時に互いに力を貸し合うなど労力を出し合うこと。



# 成人の日の集い

東京武道館：平成28年1月11日(月・祝)

参加者：3,557人

区内新成人：6,159人(男性3,146人 女性3,013人)

## 実行委員氏名 (五十音順)

山 矢 矢 林 信 小 金 尾  
崎 野 内 田 林 子 形  
拓 義 陽 麻 隆 大 観  
紫 人 照 一 衣 弘 和 奈



## 成人の日の集い 実行委員を経験して

成人の日の集い実行委員  
信田 麻衣

一月十一日、成人式を無事終え、私たちは大人への第一歩を踏み出しました。

私たち実行委員会は、新成人の皆さんに足立区をもっと好きになってもらいたいという思いから、式の準備を進めて参りました。

当日は三五五七人も新成人が集い、「あたちに恋する大人へ」というテーマに相応しく、足立区の良さを再認識し、区民としての一体感を感じられた節目の日となりました。

無事に式を終えられたのは、開催にあたり、尽力してくださった近藤やよい区長をはじめ区役所の方々、地域の皆さん、新成人の皆さんの支えのおかげです。心より感謝申し上げます。

私たち新成人は、足立区の皆さんへの感謝の気持ちを胸に、下の世代の子どもたちの手本となり、また、足立区より良い未来に貢献できる大人になれるよう努力していきます。

## 新成人の皆さんへ

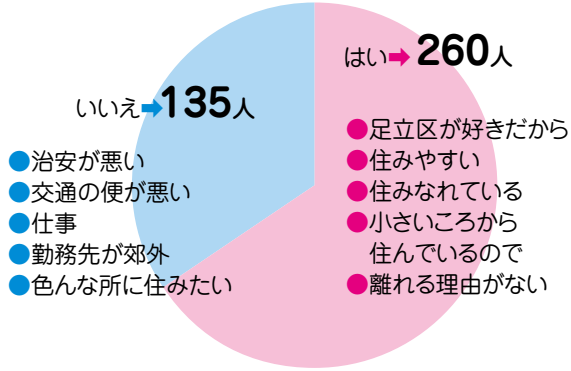
青少年委員会副会長  
川下 勝利

新成人の門出を祝うかのような晴天の中「成人の日の集い」が、区内六一五九名の新成人を対象に東京武道館で行われました。新成人から選ばれた実行委員を中心に「あたちに恋する大人へ」2016 Anniversary 宣言のテーマの下、企画・運営されました。例年と同じように、新成人の六〇%にあたる三五五七人が式典に参加し、華やかな雰囲気の中式典が終了しました。

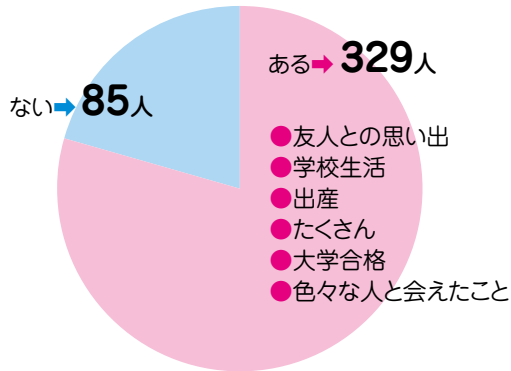
広報部が実施したアンケートへの回答でも、成人への自覚を十分感じ取る事ができ、皆さんに大きな期待を抱かせていただきます。今年から選挙権が引き下げられ、多くの若者が新たに政治への判断を求められることとなります。自分の将来に責任を持つと同じように、この国の未来も担っていただけるようお願い致します。



#### 4 これからも足立区に住みたいと思いますか？



#### 5 あなたのこれまでの人生のなかで、喜び感動など、心に残ることはありましたか？



### アンケートを実施して

- 「自分の行動に責任を持つ」●「選挙には投票に行く」
- 心に残ることは、「友との出会い」「部活」「学校生活」「今まで生きてきたこと」「二十歳の誕生日」「いろいろたくさんある」などがありました。
- これからも足立区に住みたいかは、「生まれも育ちも足立区で慣れ親しんでいる」「住みやすい」「好きだから」などがありました。
- 10年後は何をしているかという問いには、「働いている」「仕事をしている」という回答が多数であった。「結婚している」「家庭を持っている」「子育てをしている」と答える新成人もかなりいるが、「仕事をして家庭を築くという」回答も多く見受けられた。

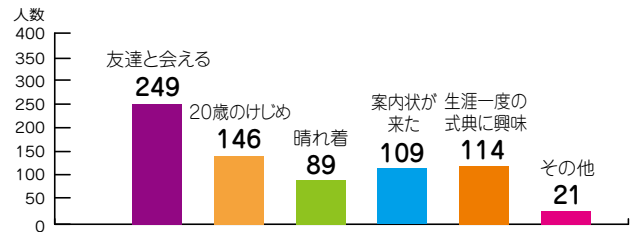


## 成人の日の集いアンケートより

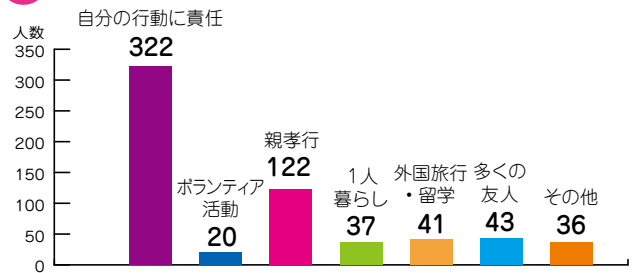
アンケート集計結果(複数回答あり)

アンケート回答数		職業	人数
男性	239人	勤労者	117人
女性	213人	学生	291人
合計	452人	その他	14人

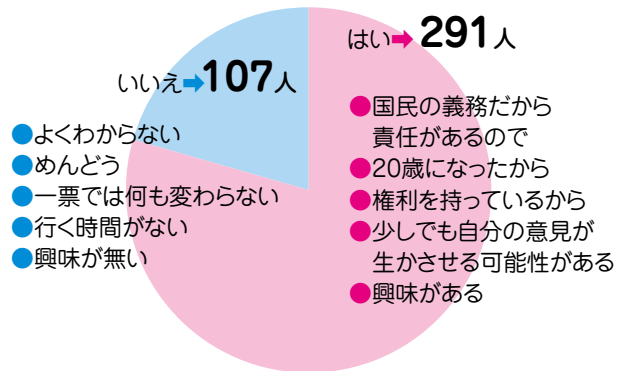
#### 1 成人式に参加された理由をお聞かせください



#### 2 20歳の抱負は？



#### 3 選挙があつたら投票に行きますか？



## 小中一貫校 興本扇学園創立十周年

### 第三ブロック 吉岡 成子

十一月二十八日、創立十周年記念式典・祝賀会が盛大に開かれしました。本学園は平成十八年四月六日、足立区初の小学校・中学校の一貫教育校として興本小学校と扇中学校の統合により新たに開校したものです。

記念式典は、西校舎(扇中学校)体育館において学校関係者・来賓等二七〇人の列席に加え、学園五年生から九年生も参加し、肅々と行われました。

はじめに学園の西村豊校長より式辞があり、次に来賓代表として足立区長の近藤やよい様から祝辞がありました。

引き続き、学園生とオーストラリアの小学校との、学園紹介など国際交流の様相がスクリーンに映し出されました。学園紹介は英語によるスピーチであり、小中一貫校の成果を垣間見ることができました。

式典最後には、開校十周年契機に制定された「興本扇学園歌」が披露されま



した。

記念式典終了後には、祝賀会が東校舎(興本小学校)で開催されました。

祝賀会のオープニングセレモニーとして、四年生から九年生の合唱団による美しいハーモニーが会場内に響き渡り、参加者を魅了しました。この合唱は児童・生徒六年に亘る規律正しい見事な歌声であり、小中一貫校ならではの成果と財産であると感じられました。

最後に学園PTAが中心となって『輝け・はばたけ・興本・扇(地域音頭)』が歌唱されました。代表者から「この音頭は学校と地域との絆の歌であり、これからも大事にしていきたい」と力強く述べられ、祝賀会は終了しました。

## 花畑第一小学校五十周年

### 第九ブロック 遠山 辰雄

十一月二十九日、晴れ渡る空のもと花畑第一小学校の創立五十周年記念行事が執り行われました。昨年完成した人工芝の校庭と「花いっぱい運動」の活動で華やかに飾られた学び舎が来校者を歓迎しました。午

前中の児童集会では、PTAと実行委員会から五十周年を記念して制定された校帽が五年生までの児童に、六年生には記念品が贈られました。また、式典に先立ちPTAOB会から寄贈された記念樹の植樹式も行われました。

午後から体育館において式典を挙行し、来賓祝辞で

は近藤区長が「夢を實現できる環境作りと地域を担う学びの循環」についての話を通して、同校への期待を述べられました。式典は厳粛に進み「花一太鼓の会」が日ごろの鍛錬の成果を披露して、式典に花を添えました。

祝賀会はフラルル



ガーデンに場所を移して盛大に開催されました。木暮校長の式辞では、周年行事を支えてくださった全ての皆様への感謝が述べられました。

初代PTA会長を務めた鈴木進実行委員長の挨拶では、水運の要衝として栄えた地域の来歴が紹介され、来賓挨拶に立った定野教育長は、花畑・渚江地域で過ごした自身の少年期の思い出を交え、五年後に文教大学の開学を控えた花畑地域の文教地区としての発展に期待を寄せられました。花一小の新たな歴史を開く有意義な会となりました。

記念樹のモクレンとユズリハの苗木と共に、伸び伸びと成長していく花一小の子どもたちを、地域一丸となって見守り応援したいと思います。



# フラッグ鬼ごっこ

## 第一ブロック 大木通子

平成二十七年九月二十三日、ニューズポーツイベント「フラッグ鬼ごっこ」が帝京科学大学千住キャンパス二号館アリーナにて開催されました。

足立区青少年委員会と足立区スポーツ推進委員会の連携事業として足立の子どもの達のために企画されたもので、千住地域の六校の小学生に呼びかけての開催となりました。

当日は各校一年生から六年生までが五つのチームに分かれ、いかに自分のチームのフラッグを守りつつ、相手チームのフラッグを取りに行くか。ルールがわかっていると攻守の役割分担をして、学年や学校の垣根を越えたチームプレーを展開し、応援に来ていた保護者の声援も加わって白熱した戦いが繰り広げられました。

初めての大会だったので、まだまだルール等改善の余地を残すものの、参加していた子ども達への「またやりたい人！」の呼びかけには、全員が元気よく「ハイ！」と手を挙げました。



定例会



西新井大師大書院での法話

足立区青少年委員会では、「年中行事・記念日を大切にしましょう」の取り組みのもとに、事業部では区役所アトリウムへの飾りつけ、ポスターの作成配布を行っています。また、委員としての資質向上を図るため、研修部では多岐に渡る研修を開催しています。青少年の健全育成のために、青年委員は様々な活動に取り組みます。



「あだち区民まつり」に



話し方「呼吸法」研修



中学生「東京駅伝」応援中！



あだち子ども百人一首大会 審判員の講習

### 平成27年度 区立学校周年記念式典実施校 (五十音順)

入谷中学校	40周年
入谷南中学校	30周年
興本扇学園(興本小、扇中)	10周年
加平小学校	50周年
弘道第一小学校	50周年
古千谷小学校	40周年
鹿浜第一小学校	50周年
鹿浜中学校	50周年
舎人第一小学校	30周年
花畑第一小学校	50周年
東綾瀬小学校	40周年



優勝  
中学校の部 栗島中学校



優勝  
小学校の部 舎人小学校

青少年委員が運営協力している「第七回あだち子ども百人一首大会」が、平成二十八年三月五日に島根小学校体育館に於いて、開催されました。

## 第七回 あだち子ども百人一首大会

## 「平成26・27」年度の活動の総括

### 研修部 吉澤 たち子

平成26年度は、新任研修からはじまり全体研修2回、日帰り研修、そして2回部会の前に、青少年課村上係長と齋藤元教育長にお話をいただき、研修を重ねました。

27年度は、フォローアップ研修では定野教育長の講演、魚沼方面への宿泊研修、最後にあぎお由各利さんの講演による全体研修を行いました。活動の前には、部会を開き部員の意見や要望を聞き、皆の考えに添ったものをと、進めてきました。なかなか思うようにいかないこともありましたが、できる限り頑張ってきたと思います。活動ごとにアンケートを取りました。勉強になったという言葉が多くありました。

皆様のご協力をいただき、26・27年度の活動予定を無事終えることができました。これまでのご協力に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



## 事業部の活動

### 事業部長 松崎 顕治

事業部は通年の事業、健全育成団体の皆様との親睦活動の企画運営、あだち区民まつりの参加準備の3事業を行っています。

通年の事業では『年中行事・記念日を大切にしましょう!』として、足立区本庁舎アトリウムに年4回飾り付け活動を行っています。

また、同時に区立こども園、小学校、中学校へ上記年中行事のポスターを作成して配布しています。

また、健全育成団体8団体の親睦を深める事業として、ソフトボール大会の準備及び企画運営を6月14日に行いました。25・26年度と2連覇されていた小学校校長会チームに、ストップをかけた中学校PTA会長会の皆様お見事でした。

10月に開催された『あだちまつりAフェスタ』には、企画運営させて頂いた、ミニSL、ウォーターコイン、一円玉アートの運営準備に取り組みました。

事業部では『丁寧に確実に事業を進める』を合言葉に、事業部員一同、心合わせて一生懸命取り組んでいます。

端午の節句(4/21~5/7) 七夕飾り (6/23~7/8)  
お月見飾り(9/15~9/28) お雛様飾り(2/12~3/4)

【寄付】足立区社会福祉協議会へ 一円玉アートより 16,724円全額 青少年委員有志より 24,245円



広報部(定例会にて)

二年前、私は足立区青少年委員に委嘱されました。更にそれに伴って開かれた学校づくり協議会、地区対、地少協にも参加する事になりました。

青少年委員とはこれほど多くの事柄に関わっているのかと驚きを隠せませんでした。

更に、九月と三月の二回広報誌を発行する広報部会に所属となりました。半年に一度の広報誌のためには、取材や原稿依頼、校正作業とそれぞれ数回の部会を開催し、やっとこうして広報誌となっております。ご協力頂いた方々に御礼申し上げます。私の一期二年間はあっという間でした。これからも「青少年委員会だより」を、宜しくお願い致します。

広報部副部長 速水雅彦

## 編集後記